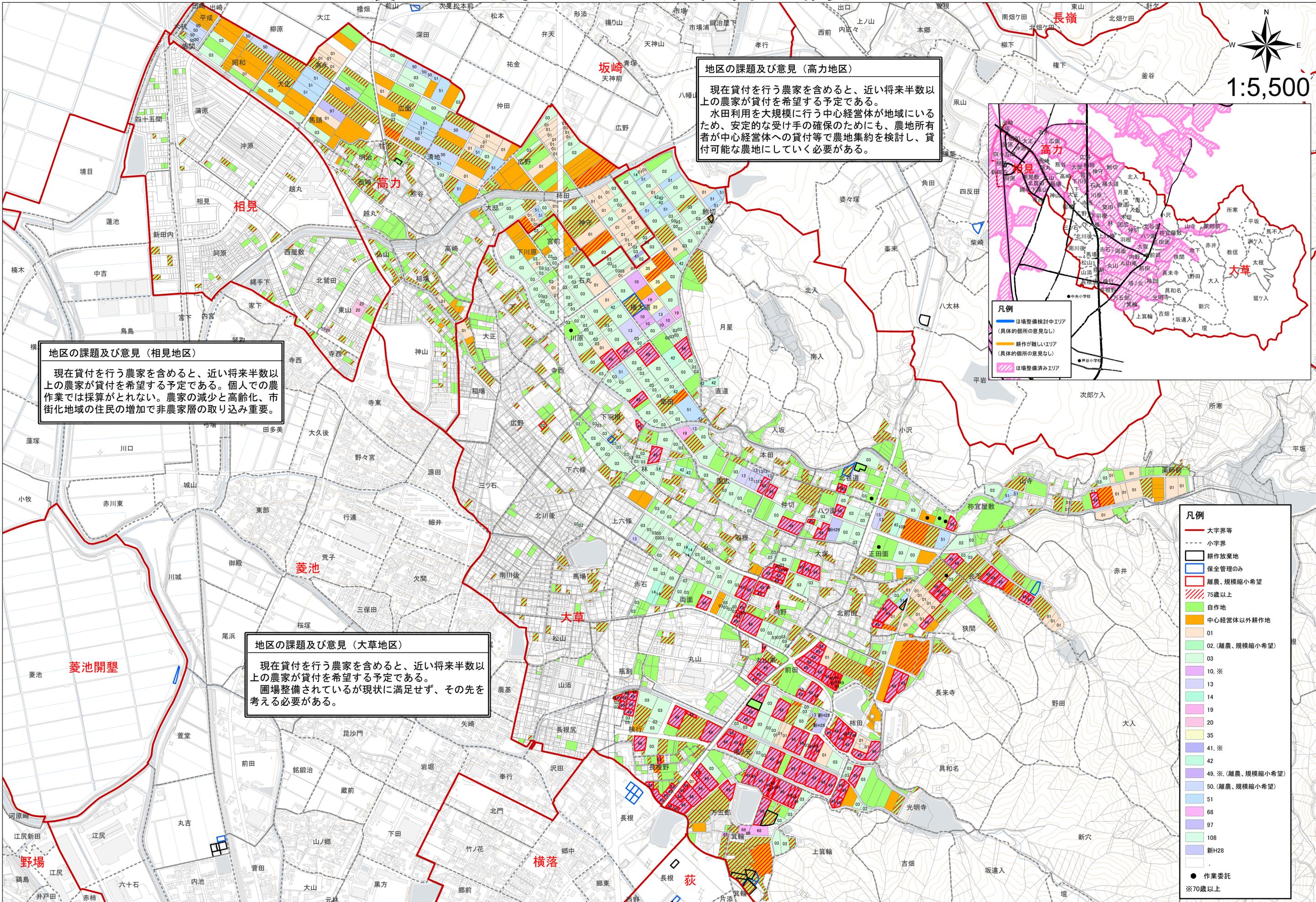


人・農地プラン対象地区：大字大草・高力・相見地区



地区の課題及び意見（高力地区）

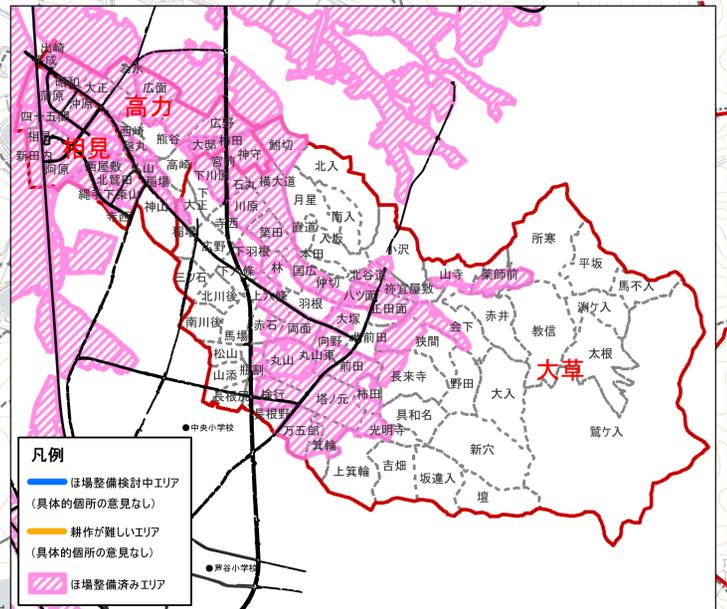
現在貸付を行う農家を含めると、近い将来半数以上の農家が貸付を希望する予定である。水田利用を大規模に行う中心経営体が地域にいるため、安定的な受け手の確保のためにも、農地所有者が中心経営体への貸付等で農地集約を検討し、貸付可能な農地にしていく必要がある。

地区の課題及び意見（相見地区）

現在貸付を行う農家を含めると、近い将来半数以上の農家が貸付を希望する予定である。個人での農作業では採算がとれない。農家の減少と高齢化、市街化地域の住民の増加で非農家層の取り込み重要。

地区の課題及び意見（大草地区）

現在貸付を行う農家を含めると、近い将来半数以上の農家が貸付を希望する予定である。圃場整備されているが現状に満足せず、その先を考える必要がある。



凡例

- ほ場整備検討中エリア (具体的箇所の意見なし)
- 耕作が難しいエリア (具体的箇所の意見なし)
- ほ場整備済みエリア

凡例

- 大字界等
- 小字界
- 耕作放棄地
- 保全管理のみ
- 離農、規模縮小希望
- 75歳以上
- 自作地
- 中心経営体以外耕作地
- 01
- 02 (離農、規模縮小希望)
- 03
- 10 ※
- 13
- 14
- 19
- 20
- 35
- 41 ※
- 42
- 49 ※ (離農、規模縮小希望)
- 50 (離農、規模縮小希望)
- 51
- 68
- 97
- 108
- 新H28
- 作業委託
- ※70歳以上